

平成17年度第6回（第20回）役員会議事要旨

日 時 平成17年8月31日（水）11時から12時
場 所 事務局3階応接室
出席者 小島学長、西澤理事・副学長、丸山理事・副学長、川崎理事・副学長、
西口副学長、石崎副学長、佐藤事務局長
陪席者 丸山監事

第19回議事要旨について

学長から、第19回議事要旨案について説明があり、案のとおり承認した。

議 題

1 人事院勧告について

事務局から、資料1に基づき説明があった後、まず、勧告の内容の確認及び意見交換が行われた。その後、給与水準等、本学の方向性について議論が行われ、審議の結果、勧告を十分に考慮して適正に水準等を定める旨の方向付けがなされた。

2 平成18年度学内予算編成等日程について

事務局から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、事務局長から、11月16日（水）の役員会で審議予定の平成18年度学内予算編成基本方針については、人事院勧告により、運営費交付金の算定に影響が出ることが想定されるため、最終決定にならない可能性を含んでいる旨の補足説明があった。

3 その他

事務局長から、次回開催の役員会（9月28日（水））から、役員会終了後の午後、系長から監事に各系の現状報告をしてもらいたい旨の提案があり、これを承認した。なお、報告は各系持ち回りで1回当たり2系とし、計3回で行うこととした。

報 告

1 平成18年度概算要求について

事務局から、資料3に基づき本学からの要求事項について文部科学省からの内定があり、今後、財務省との折衝を経て、12月20日以降に事項及び額が決定される旨の報告があった。

なお、学長から、財務省との折衝の結果に関わらず、博士後期課程生物統合工学専攻及び専門職大学院を平成18年4月からスタートするにあたり、学生募集の準備を始めたい旨の発言があった。

〔裏面有り〕

2 平成16年度決算について

事務局から、資料4に基づき次のとおり報告があった。

- 国立大学法人に係る平成16年度決算は、8月29日（月）に文部科学大臣の承認が下りてから公表されるものであったが、事前に一部の新聞に報道され、地元紙からも、本学を含めた県内大学に電話取材があった。
- 新聞報道には、純利益の額が相当である等の誤解を招く表現があるが、これは国立大学法人会計基準の特殊性や国立大学法人への移行に伴う特別な事情等の要因があり、実際は本学に限らず財政状況は厳しく、経営努力を行っている。

以 上